



# 教育者向けガイド

## さあ、踊ろう

本書は、Scratchを用いた60分間のワークショップを計画し指導する際の教育者向けのガイドです。ワークショップで参加者にミュージックとダンスの振り付けを組み合わせた活気のあるダンスシーンを創作してもらいます。



## ワークショップの概要

推奨の60分のワークショップ用のアジェンダは次のとおりです。



### 想像する

10分間

最初に、参加者全員を集めてテーマを紹介します。そしてアイディアを引き出します。



### 創作する

40分間

次に、参加者が各々のペースでダンスプロジェクトを創作できるよう、手助けします。



### 共有する

10分間

最後に、みんなを集めて共有と振り返りを行います。



## ワークショップの準備

ワークショップ用のチェックリストを使って準備します。

### □ チュートリアルの事前確認

"さあ、踊ろう"のチュートリアルは、参加者にプロジェクトの作り方を教えています。ワークショップ前に、チュートリアルを確認して最初の数ステップを試しておきます。:

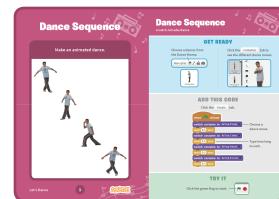
[scratch.mit.edu/dance](https://scratch.mit.edu/dance)



### □ アクティビティカードの準備

"さあ、踊ろう"のカードを数セット準備し、ワークショップ中に参加者が利用できるようにします。:

[scratch.mit.edu/dance/cards](https://scratch.mit.edu/dance/cards)



### □ 参加者のScratchアカウントの確認

参加者は、[scratch.mit.edu](https://scratch.mit.edu)で自分のScratchアカウントを登録できます。教師用アカウントがある場合、教師が生徒用アカウントを設定できます。

教師用アカウントの申請：[scratch.mit.edu/educators](https://scratch.mit.edu/educators)

### □ プロジェクト共有用スタジオのセットアップ

参加者が、プロジェクトを追加できるようにスタジオをセットアップします。"私の作品"のページで、"+新しいスタジオ"ボタンをクリックしましょう。スタジオの名前("私達のダンスプロジェクト"のような)を付けておきます。

### □ コンピュータやラップトップのサウンドのチェック

コンピュータまたはラップトップのサウンド出力が正常に動くことをチェックしておきます。



## 想像する

まず参加者を集めてテーマを紹介します。そしてプロジェクトのアイディアを引き出します。

### ウォーミングアップ：ダンスの振り付けを共有しよう

ビート付きの音楽をかけながら、参加者を集めて輪になってもらいます。ビートに合わせて、自分のファーストネームを唱えながら、ダンスを踊ってみせます。続けて、参加者にあなたのダンスの振り付けを真似て踊るよう促します。参加者は、順番にファーストネームを唱えながら、他の参加者に向けてダンスを繰り返します。

### アイデアとインスピレーション

"Let's Dance"のチュートリアル用の入門ビデオを見せましょう。ビデオには、アイデアやインスピレーションを湧かせてくれる様々なプロジェクトが盛り込まれています。



[scratch.mit.edu/dance](https://scratch.mit.edu/dance) や [vimeo.com/lkk/dance](https://vimeo.com/lkk/dance) を参照して下さい。



## 最初のステップのデモ

チュートリアルの最初の数ステップを実演してみせます。そうすることによって参加者はどうやって始めたらいいのか理解できます。

新しいプロジェクトを作成します。  
背景を選択します。



スプライトライブラリーからダンサーを追加します。



音ライブラリーから音楽を追加します。



ダンスのシーケンス(進行)をコーディングして見せます。



## 創作する

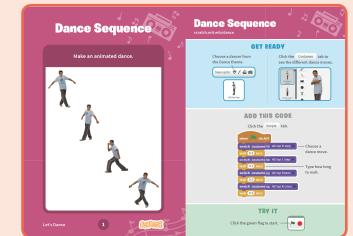
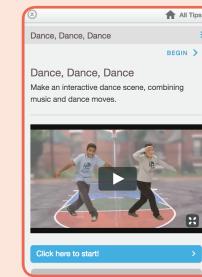
参加者がダンスプロジェクトを創れるようサポートします。一人または二人一組で取り組みます。

問い合わせで始めます。  
始めるにあたり参加者に質問します。

どのダンサーを選びますか?

ダンサー達をどこで踊らせたいですか?

教材を与えます。  
入門用の教材の選択肢を示します。



手順に沿って進みたい参加者向けのオンラインチュートリアル:  
[scratch.mit.edu/dance](http://scratch.mit.edu/dance)

いろいろと探究しながら進みたい参加者向けのアクティビティカード:  
[scratch.mit.edu/dance/cards](http://scratch.mit.edu/dance/cards)

開始のためのアイデアを思い付かせます。

- ・背景を選びましょう。
- ・ダンサーを追加しましょう。
- ・音楽を追加しましょう。
- ・コスチュームを切り替えてダンスの振り付けを選びましょう。
- ・ダンスのシーケンス(進行)をコーディングしましょう。



## さらにトライさせます。

- 繰り返しのブロックを追加してみましょう。
- タイミングを調整してダンスとミュージックをシンクロさせてみましょう。
- ダンサーをもっと追加してみましょう。
- 背景を変えてみましょう。
- 色や効果を追加してみましょう。

## 自分仕様にカスタマイズするよう促します。

時間がある場合は、プロジェクトを自分用にカスタマイズしてみましょう。

- 明るく照らされた単色の壁を見つけよう
- 様々なダンスの振り付けをしている写真を撮影します。
- コスチューム用にScratchに写真をインポートします。
- 魔法の杖を使って背景を削除します。

<http://bit.ly/scratchmagicwand>を参照してください。



## 共有する準備をします。

プロジェクトの説明や貢献した人を追加するには、"プロジェクトページ参照"ボタンをクリックしましょう。

このビデオは、Scratchウェブサイトでプロジェクトを共有する方法を紹介しています。:

[vimeo.com/lkk/share](https://vimeo.com/lkk/share)



## 共有する

参加者がScratchの共有されているスタジオに、自分のプロジェクトを追加できるようにします。

参加者にスタジオへのリンクを教え、ページの下にある"プロジェクトを追加"をクリックしてもらいます。ボランティア達に、皆んなのプロジェクトをグループに見せるように頼みましょう。

## 次なるステップは？

参加者はこのワークショップから得たアイデアを使用して、様々なダンスプロジェクトを創作できます。別のアプローチ方法を2つ参加者に示します。



## どこで踊りますか？

公園やお気に入りの場所の写真を撮影し、Scratchにインポートしてダンスマニエーションの背景に使いましょう。



## パスしよう：一緒にダンスしよう

共作のダンスにするために、参加者全員に5分間の持ち時間を与えます。時計回りに、隣りの席に移動して、思い思いにダンサーを追加していきます。最初に使っていたコンピュータのところに戻るまで、席の移動とダンサーの追加を続けます。戻ってきたら、自分のプロジェクトがどうなったか見てみます。

Scratchは、MITメディアラボのライフロング・キンダーガーデン・グループのプロジェクトの一つです。